



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～



平成29年12月19日発行 No.32 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記

「成長を感じることができました。」 ～授業参観アンケートから～

82日間の二学期も、残すところ3日となります。水泳記録会から始まり、今は、雪遊びを楽しむ季節となりました。

授業参観アンケートから、子ども達の成長をみてみます。

1年生…発表の仕方など、1年生とは思えないほどしっかりしていて驚きました。成長をとて感じることができました。

2年生…人前で発表するるのが苦手だった娘が、堂々と発表できていた姿に感動しました。成長を感じうれしく思いました。

3年生…先生が子ども達一人一人を教えてまわっていました。子ども達を大切にしてくださっていてとてもうれしく思いました。

4年生…一人一人が工夫して答えを出している姿をみて勉強になりました。楽しく授業をしていたのでとてもよかったです。

5年生…クラス全体が、楽しく授業に参加しているのが印象的でした。

6年生…さすが6年生。みんな落ち着いて、大きな声でプレゼンできていました。

なかよし…助け合って楽しく勉強していて、すごくよいと思いました。

保護者・地域のみなさまのご理解とご支援あつての成果に感謝いたします。なお、通知表には、308名一人一人の成長や活躍が記されていますので、どうぞ家族で褒め称えてください。



傘に付いた水滴をしっかり落とし、ていねいに傘を丸める1年生(5年生のMさんが、手本を示していました。)

『あいさつ』は、みんなを笑顔にする ～あいさつの意味～



全校生に放送で伝える

本校では、「あ・は・も」の「あいさつの力」を身に付けるため、“あいさつの意味を考える”活動をはじめました。先日は、2年生と4年生があいさつの意味を考え、全校生に伝えました。

タイトルの言葉は、4年生のEさんが考えたあいさつの意味です。2年生のKくんは、踏切の近くで安全を見守ってくださっている伊藤さんのあいさつの仕方を真似てみたところ、「今日もがんばるぞ。」と、毎日毎日、すごくいい気持ちになり、うれしくてたまらないと、言っていました。

さて、みなさんは「あいさつ」をどのように考えていますか？

情報ビジネス専門学校副校長の比田井氏は、あいさつの意味を「相手の存在を認め、相手に対して心を開くこと」と話しています。これは、「あいさつを通して自分の心を開ける人には、他の人も心を開いてくれる。しかし、あいさつできない人、つまり、人に対して心を開けない人は、人からも心を開いてもらえない。」ということを行っているのだと思います。あいさつには、「人の心を開く力」があるということです。

EさんもKくんも、この意味がわかったのではないのでしょうか。子ども達が、「あいさつ」という行為を考えることを通して、もっともっと気持ちのよいあいさつができるようになると、期待します。

虫歯ゼロの学級

5年1組が、虫歯の治療を全員完了し、表彰されました。



サンマルちゃん献立、「カミカミつくね」

食育教育の一環として、よく噛んで食べる「サンマルちゃん献立」を実施しています。

今回は、4年生の安藤さんが考えた「カミカミつくね」(レンコンとニンジンを粗みじん切りにして、挽肉に練り込んだ)が、給食になりました。よく噛んで美味しくいただきました。

